

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年6月1日発行

－ 2017.5.22～ 2017.5.28－第21週－

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第18週	第19週	第20週	第21週
水痘	1 0.20	4 0.40	1 0.20				2 1.00	14 0.52	23 0.39	516				
流行性耳下腺炎	1 0.20		1 0.20					8 0.30	10 0.17	232				
百日咳									0 0.00	6				
感染性胃腸炎	39 7.80	51 5.10	23 4.60	13 6.50	14 4.67	37 7.40		367 13.59	544 9.22	5,600	◎	◎	◎	◎
手足口病	3 0.6	2 0.2					2 1.00	4 0.15	11 0.19	49				
伝染性紅斑	2 0.4	3 0.30						3 0.11	8 0.14	57				
突発性発しん	5 1.00	5 0.50	5 1.00		2 0.67	5 1.00		22 0.81	44 0.75	646	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	1 0.2							3 0.11	4 0.07	19				
インフルエンザ	9 1.13	26 1.73	6 0.75	3 1.00	4 0.80	29 3.63	3 0.75	54 1.23	134 1.41	26,913	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	15 1.50	2 0.40	4 2.00	5 1.67	5 1.00		31 1.15	65 1.10	520	○	○	○	○
流行性角結膜炎		4 1.33						2 0.33	6 0.50	46				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34 6.80	53 5.30	15 3.00	6 3.00	8 2.67	51 10.20		64 2.37	231 3.92	3,524	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00	1 1.00			3 0.60	6 0.50	109				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	1 0.20	2 0.20		4 2.00		1 0.20		8 0.30	16 0.27	218				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	50				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	1	3	1	1								
	川崎病	1							1					
	不明発疹症								4					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名
仙南管内 男性1名
登米管内 男性1名(第20週)

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性2名、女性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名
梅毒
仙台管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第19週採取分
A群ロタウイルスG9型 1件
アストロウイルス 2件
Campylobacter jejuni 2件
Yersinia enterocolitica 1件

インフルエンザ患者より
塩釜管内 第19週採取分
インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第18週採取分 (5.1～5.7)	第19週採取分 (5.8～5.14)	第20週採取分 (5.15～5.21)
RSウイルス	0件	1件	0件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件
ムンプスウイルス	1件	0件	0件
アデノウイルス	1件	0件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	0件	1件	1件

4. 今週のコメント

【レジオネラ症】

今週は3例の報告があり、2017年の県内報告数は13例になっています。レジオネラ属菌は土壌や水環境中に生息する菌で、ヒト-ヒト間の感染はありません。エアロゾルを発生させる人工環境(冷却塔、噴水、ジャグジー等)や循環水を利用した風呂の増加が、感染の機会を増やす一因ではないかと考えられています。肺炎またはインフルエンザ様の症状を呈しますが、高齢者など免疫が低下したヒトでは肺炎を起こす危険性が高まります。これから梅雨を迎え、天候の変わりやすい季節です。免疫力を落とさないよう日頃から体調管理に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

